



「平成26年8月丹波市豪雨災害義援金」の受付延長

平成26年8月16日から大雨により、丹波市において人的被害や住家被害が発生しました。この災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けています。ひきつづき皆さまのご協力をお願いします。



ハート十字

義援金名：平成26年8月丹波市豪雨災害義援金
口座番号：みなと銀行 本店営業部 普通1871585
口座名義：日本赤十字社兵庫県支部 支部長 井戸敏三
受付期間：平成27年3月31日(火)まで

その他：(1)みなと銀行の本支店間の窓口(ATM含む)による振込手数料は無料となります。(インターネットバンキング、ダイレクトバンキングを除く)
(2)所得税などの税控除を受ける際には、受領証が必要です。

義援金や受領証などについては、振興課までお問い合わせください。TEL: 078-241-8921 (直通)

お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただきず、全額を被災された方々へお届けしています。

講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで  078-241-1499 (講習係)

人が倒れていたり、苦しんでいるのを見かけた…そのような場面に居合わせるとき、「心配だけど、どうしていいかわからなかった」そんな経験はないでしょうか？

日本赤十字社では、万が一の病気やけが、災害などに備え、大切な人の命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を身につけてもらう講習をおこなっています。

◆ 知ってよかった「幼児安全法」

少子化、核家族化が進むなか、社会の財である「子どもたち」。特に1歳から学齢前までは、生活の行動範囲が急激に広がるので、思わぬ事故が起こる可能性も。また、子どもの事故の大部分は、家の中やその周辺で発生しています。幼児安全法講習は、思わぬ事故から子どもを守り社会全体で大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の対処法などを学ぶことができます。



救急法基礎講習

1/10 13:00~17:30

救急法救急員養成講習(2日間のセット講習)

12/13 14 いずれも 9:30~17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間のセット講習)

12/20 21 23 1/11 12 17 いずれも9:30~17:30

幼児安全法講習(3日間のセット講習)

1/18 24 25 いずれも10:00~16:00

健康生活支援講習(3日間のセット講習)

1/21 2/6 13 いずれも10:00~16:00

科目別講習

講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法講習 子どもの起こりやすい事故の予防と手当について 12/19 10:00~12:00

幼児安全法講習 子どもの一次救命処置 12/19 13:00~15:00

救急法講習 骨折の手当と搬送法 12/19 10:00~12:00

救急法講習 AEDを使用した一次救命処置 12/19 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

ひょうごの赤十字

2014 November 11月

知識と技術を身につけ、災害に備える



- 三木市総合防災訓練に参加
- 歴史・文化にふれる玄界灘の旅
- 神河町赤十字奉仕団が新たに結成
- 兵庫県声の図書赤十字奉仕団が受賞
- 「平成26年8月丹波市豪雨災害義援金」ご協力のおかげ
- 講習のご案内 / 知ってよかった「幼児安全法」
- たすけあいを、忘れない。「NHK海外たすけあい」がはじまります

 日本赤十字社 兵庫県支部
Japan Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海浜通1丁目4番5号



078-241-9889



赤十字 兵庫 検索



知識と技術を身につけ、災害に備える

～姫路市赤十字奉仕団が災害救護実践研修訓練を開催～

10月3日、総合施設イーグレひめじにて、姫路市赤十字奉仕団による災害救護実践研修訓練が開催され、姫路市各地域の赤十字奉仕団員約120名が参加しました。

すぐに対応できる知識と技術を身につけるため、各グループに分かれておこなわれた応急救護訓練では、心肺蘇生とAEDの使い方、三角巾を使った包帯法、毛布を使った担架や車いすでの搬送、風呂敷で作るリュックサック、毛布を使ったガウン、少しのお湯でできるホットタオル作りなど、傷病者が安心でき、非日常的な避難所生活を少しでも快適に過ごすことができるよう、話し合いアイデアを出し合いながら取り組んでいました。訓練後は成果発表として各グループの代表者が実践。見ていた皆さんが感心するほど、それぞれのグループが訓練の成果を出していました。

また、豚汁などの非常食の炊き出しをおこなった福祉救援訓練では、被災者にスムーズに配ることができるように考えた動線や誘導で、検証も兼ねながら取り組んでいました。参加者からは「見たり話を聞くだけでなく、実際におこなって体で覚えることができた」「災害発生時にはできないはずまない。みんなで助け合うことが大事」などの感想や意見をいただきました。

また、そのほかの地域でも研修会を開催し団員約180名が参加。赤十字の歴史や基本原則などの講義、非常食体験や三角巾を使ったきずの手当てなどを学び、赤十字への理解を深め今後の活動が充実したものとなる知識を身につけました。



「どう？」お互いにリュックサックのでき栄えを確認



毛布のガウンは日常でも役立つ知識

開催された地域赤十字奉仕団員研修会

10月 6日	丹波・北播磨地域	10月17日	西播磨地域
14日	淡路地域	21日	神戸・阪神地域
15日	東播磨・中播磨地域	24日	但馬地域



三木市総合防災訓練に参加

9月28日、三木山総合公園にて三木市総合防災訓練が開催され、兵庫県支部では応急救護訓練とPRブースに参加しました。

住民参加型の応急救護訓練では、災害時や日常生活でいざというとき知っていれば役立つ止血法や三角巾を使った包帯法を体験していただきました。また、PRブースでは、東日本大震災での救護活動や日本赤十字社が海外救援金を財源に被災地で取り組む復興支援活動を紹介。来場者からは「継続した被災地への支援の大切さを感じた」などの感想をいただきました。



三角巾を使って腕の吊り方を体験する住民の皆さん

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



歴史・文化にふれる玄界灘の旅

～兵庫県日赤有功会視察旅行～

10月8～10日、赤十字活動に対して多大なお力添えをいただいている兵庫県日赤有功会が、このたび、親睦と見聞を広めるため、九州北西部に広がる玄界灘を視察旅行しました。

城下町の風情漂う町並みが残る佐賀県の唐津城の天守閣で、日本最大松原の一つとして有名な「虹の松原」を一望した後、「魏志倭人伝」に「一支国」として登場し、交流・交易拠点の役割を果たした長崎県壱岐島を訪問。壱岐島では、江戸時代の物々交換がルーツといわれている勝本の朝市や麦焼酎発祥の地にある蔵元、国の指定特別史跡で一支国の王都として栄えた「原の辻遺跡」を見下ろす丘に建つ一支国博物館のほか、島の名勝地を見学しました。また、学問の神、至誠の神と崇められる福岡県の太宰府天満宮や「台北国立故宮博物院」特別展が開催されていた九州国立博物館も訪れ、皆さん大変興味深く鑑賞されていました。

さまざまな史跡や文化財に触れ、海の幸も存分に味わい、とても有意義な視察旅行となりました。



壱岐の猿岩にて集合写真



焼酎蔵元で伝統と製法の説明を受ける皆さん



神河町赤十字奉仕団が新たに結成

神河町赤十字奉仕団は、婦人会の解散にともない、今年3月末で一旦解散しました。しかし、災害など地域に何か起こったときに、真っ先に活動できるボランティアの力は不可欠であることから、地区長や元団員の皆さんが赤十字奉仕団の存在意義などの協議を重ね、このたび新たに赤十字奉仕団を結成し、9月17日に結成総会が開催されました。新たな神河町赤十字奉仕団の団員数は16名。男性も加わりさらに力強くなりました。

今後は、町内の自主防災組織や一般公募で団員を増やししながら、地域に根差した活動展開を予定しています。小林美恵子委員長は「新たな奉仕団の委員長となり責任も重大だが、一緒に活動したいと思ってもらえるよう、団員全員で頑張り楽しく活動していきたい」と抱負を述べられました。



「楽しく活動していきたい」と挨拶する小林委員長



兵庫県声の図書赤十字奉仕団が受賞

9月19日、録音図書づくりに貢献したボランティアに感謝を表する「第44回朗読録音奉仕者感謝の集い」(公益財団法人鉄道弘済会主催)が開催され、兵庫県声の図書赤十字奉仕団が「朗読録音奉仕グループ奨励賞」を受賞しました。昨年、結成50周年を迎えた同奉仕団には、現在9グループ139名が所属し、全国約260名の視覚障がい者(リスナー)へ、月刊誌や図書などをテープやCDに録音し届ける活動をおこなっています。

また、リスナーとの交流会や技術向上のための勉強会など熱心な活動を続けられています。授賞式に参加した大下操委員長は「感無量です。これまで皆さんと活動してきたいろいろなことを思い出します。多くの団員が繋いできた50年ですが、これからですね」と感慨深く話されていました。



喜びの表情を浮かべる大下委員長



たすけあいを、忘れない。
「NHK海外たすけあい」がはじまります



フィリピン共和国のオーロラ州で
地域保健の改善のため活動する
姫路赤十字病院の津田看護師
(一回目派遣時の様子)

12月1日から25日まで

世界中の紛争、災害、飢餓や病気などに苦しむ人々を救うため、日本赤十字社ではNHKと共同で「海外たすけあい」募金キャンペーンをおこないます。兵庫県支部では、日赤有国会や赤十字奉仕団などの皆さまをはじめ、広く県民の皆さまにご協力をお願いしています。

皆さまからのあたたかいご支援、ご協力をよろしく申し上げます。



募金方法

ご持参の場合

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK放送局、但馬銀行および農協・漁協の窓口など

お振込みの場合

郵便局・ゆうちょ銀行

口座記号番号：01110-0-1136

口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください

県内主要駅で街頭募金を呼びかけます。

12月 6日(土)	JR姫路駅
7日(日)	JR垂水駅
13日(土)	阪急宝塚駅
14日(日)	JR明石駅
20日(土)	JR芦屋駅
21日(日)	JR神戸駅
23日(火・祝)	JR三ノ宮駅

※いずれも13時から16時までです

お問い合わせ先 ☎078-241-8921 (振興課)



皆さまからお寄せいただいた募金は、「紛争で苦しむ人々への支援」、「災害で苦しむ人々や災害に備えるための支援」、「いのちと健康を守るための支援」の主に3つの分野に活用します。

いのちと健康を守るための支援

おもに開発途上国の人々のいのちと健康を守るため、医療、保健、衛生分野で、中・長期的な支援に活用します。

主な支援活動

- ケニアの地域保健強化支援
- ウガンダの母子保健支援
- シエラレオネの母子保健支援
- アジア・大洋州地域における救急法の普及支援
- そのほか保健・衛生分野への対応など



校内に設置された井戸で安全な水を飲む生徒たち (バングラデシュ)

事務経費



紛争で苦しむ人々への支援

宗教や民族対立を理由に紛争が続く地域で、犠牲者の緊急救援に加え、紛争の長期化による避難民への支援に活用します。

主な支援活動

- シリアの紛争に対する救援
- アフガニスタンの紛争に対する救援
- ソマリアの紛争に対する救援
- アフリカ地域の難民に対する救援
- そのほか突発的な紛争などへの対応



紛争負傷者の救援 (南スーダン)



洪水被災者への医療支援 (ケニア)

災害で苦しむ人々や災害に備えるための支援

世界各地で発生する地震、洪水などの大規模自然災害への緊急救援活動に加え、中・長期的な復興支援と将来の災害に備えるための支援に活用します。

主な支援活動

- ベトナムの災害対策
- インドネシアのコミュニティ防災
- ネパール地域の防災
- アジア・大洋州地域の給水・衛生キットの整備
- 救援物資の備蓄整備
- そのほか突発的な災害などへの対応

兵庫県からも国際活動に派遣

～フィリピン共和国へ看護師を派遣～

日本赤十字社が2005年から支援活動をおこなっているフィリピン共和国へ、このたび姫路赤十字病院の津田香都看護師を派遣。支援対象地域では、保健医療施設が遠く交通も不便、医療従事者不足などで住民が十分な保健医療サービスを受けられず、予防可能な病気にかかる人が多いため、住民へ衛生知識を普及する地域保健ボランティアの育成や保健衛生設備の整備に取り組んでいます。新たな対象地域(ヌエバ・ビスカヤ州)での体制整備のため派遣される津田看護師は「前回の派遣経験を活かして、フィリピンの保健医療支援へぜひ協力したい」と意気込みを語りました。



10月17日から約1か月間派遣の津田看護師 (右から3人目)